

2016 年度活動報告

【年間スケジュール】

- 4月 VJYE2016 スタート。テーマを SDGs（持続可能な開発目標）に決定
- 6月 垣見一雅氏（OK バジ）特別講演会開催
- 7月 英語の学習法講演会、1泊2日ゼミ合宿
- 9月 ベトナム研修（9月3日～16日）
- 10月 論文作成、ゼミ報告会
- 12月 他大学の学生、高校生と合同報告会
- 3月 「TKU 進一層表彰」にて優秀団体賞受賞



【SDGs を目指して】

私たち 2016 年度の関ゼミでは、SDGs（持続可能な開発目標）をテーマとして1年間活動した。その中でも環境、貧困教育、戦争、そしてパートナーシップを主としてベトナム学生とともに、研修を通して学んだ。ホーチミンでの大学や小中学校、一般家庭への訪問、街でのゴミ拾い活動、ドクさんのベトナム戦争に関する講演、タライ村での生活などを通して様々なことを知ることができた。また、学ぶことと同時に、街に出掛けたり、スポーツ大会をしたりなど、ベトナム学生とも交流を深めていった。

私が研修の中で一番印象に残っているのはタライ村で過ごした日々だ。ここで過ごした日々は、関ゼミでなければ経験出来なかっただろう。携帯も使えず、温かいシャワーもなく、普段の生活から考えるととても不便であったが、サイクリングやいかだレース、ベトナム伝統の遊びやゲームなど、ベトナム学生と SDGs の課題の一つでもあるパートナーシップを深めていったことは今でも忘れられない思い出である。



また、タライ村ではゴミ箱を設置するというボランティア活動をした。ただ単にボランティアをするのではなく、その村のニーズに合うもの、持続可能なもの、そして見返りを求めず人々の幸せを考えることがボランティア活動をするにあたって重要であると感じた。海外でのボランティア活動というのは、「貧しくてかわいそうな人々を支援する」というイメージが強いかもしれないが、実際に私が見たタライ村の人々は皆とても笑顔で幸せそうな人ばかりで、貧困であるということが必ずしもその人の不幸や心の貧しさに繋がるわけではないという事がわかり、改めて自分の普段の行いや考え方を見直すきっかけにもなった。

【講演会や SNS を通して】

研修を終えてからは、研修を通して学んだことや感じたことを学内だけでなく、学外にも積極的に発信した。学内では、ゼミ報告会への参加や、他大学の学生や高校生を交えての合同報告会を開催。英語でのスピーチや演奏を行うなど、報告会を行うにあたって様々な工夫をした。また、学外には SNS を利用して、私たちの活動を発信したり、研修を通して一人一人が学んだことを論文にしたりして公開した。



【TKU 進一層賞優秀団体賞受賞、2年連続の快挙】



一年間の活動をわたって、私たち関ゼミはTKU 進一層賞優秀団体賞を受賞した。これは2015年度に続き、2年連続の快挙となった。研修での活動や、日々の活動を怠らなかったというのものもあるが、多くの方々のご協力やご支援があったからこそ受賞することが出来たのだろう。

【ページ作成者】



- ・穴田 麻由佳
- ・学部：現代法学部
- ・職業：(SE・事務職)

<カルチャーショック>

関先生から教わったカルチャーショックに対応できるようになるという話（詳しくは先生に聞いてください！）が自分の今現在の社会における生活でも役に立っていると思います！

<現ゼミ生へのメッセージ>

関ゼミで過ごす日々は、他のどのゼミに行っても経験できないものだと思います。時には楽しく、時にはつらいこともあるかもしれませんが、関ゼミで学んだ1年間は、これから先何年経ってもいろんな場面で活かされると思います。充実した、良き学生生活を送ってください！